## ਭ੍ਰੇ 全もサービ も増え、安 すと他の労働者への業務量 を確保しなくて欠員でまわ いうものです。必要な要員 業務に最低限必要な要員と 提示をしています。それは 必要な要員を計算し「所要 務倒し」が行なわれていま バーで対応するような「担 欠員が出たまま当日のメン ます。一人 員」として定め、 スも低下し

## 国労西日本本部

368 植田 重信 大北 真也

## 国労西日本HP



しょうか

えているならば「対策」は

かりと労働者に向き合っ ションも変わります。

改善を行なうべきです

本当に大事なことだと考

応を行なうことでモチベー 当なども率にするなどの

しつ

## 国労西日本

「安全最優先」の為には 「担務倒し」を行なわずしっ

# 発行責任者 編集責任者

の要員を確られた担務 保せずに、 社では決め 西日本会 応をしていますがダメな場 場合は呼出しを行なって対 せん。そのためこのような 断と言えるものではありま 担が増え、安全最優先の判

最

近、

せん。 勢は安全最優先とは言えま 務が行なえます。 た事を行なわず対応する姿 合は駅長などの上役でも代 定められ

会社は業務をまわすのに

要員削減の合理

化が原因

組合にも

理化」では安全もサービス も守れません。

## 何度も繰り返す…対策は?

り謝罪をすべきではないで 働者に対し負担を強いてお で業務をさせられている労 ようにします」と回答をし はありません。これまでも 倒し」は一度だけの問題で ていません。要員減の状態 てきたが、一向に改善され の都度会社は「今後は無い 何度も行なわれており、 今回主張している「担務

h

# しっかりと行なうものです。

## 任せて 安心です

安全第

すし、

しっかりとプラスア

要員が居れば対応は出来ま

ています。しっかりと予備

このような事象をうみ出し

続けてきた「合理化」が 今まで会社が要員を削減

へへの負

等の「合理化」を行なって

を見据えて機械化や無人化 です。将来の労働人口減少 ルファの提供もできるもの

いますが、

行き過ぎた「合

## です。 かりと要員を確保するべき 一労働 • 同 賃金を

事をしており、 ておりハーフ対応も増えて のです。業務がきつくなっ 術継承もとなると大変なも 用を行なって確保をしてい ランドシニア社員」等の採 ますが、社員時代と同じ仕 労働人口減少に伴い「グ なおかつ技 す。

働条件の改

げることで

賃金の

はモチベー

モチベーションアップを

仕事を効率よくまわすに

ションを上

S

です。モチベーションを上

職場環境の改善が必要

当や精励手 行なえませ 技術継承は かりとした る中ではしつ ンも低下す チベーショ います。モ 精勤手 П

れてきます。モチベーショ 求めていかなくてはなりま 安全を守るため、安心して サービスを提供するため、 態度にも出てしまうのでは て頑張れます。 げることで業務にも精が出 仕事が出来るように改善を ないでしょうか。より良い ンが下がった常態では接客 応対にも表

情報発信アプリ

西日本本部及び 地方本部まで

活用しています。

政

とカネ

**(1)** 

題

は

す

時

で

す

の で ら

判 生

下

を活

# 15

10

月

9

た 総 15 さ 選 日れ10 挙 にま の 公 し 9 た 日 示 日 程 が 27 こ 衆 決 れ議 日 定 投に院 開 伴 し が い解 ま 票 لح 散

上題治 点 経 لح 済げ ゃ لح 自 な 対 な 物 カ 民 ێ 策 価 ネ 党 つ 等に 高 て ഗ き が ょ • の 争 る 賃 問 政



が審

判 我

を

下

す 民

時

Þ

玉

が

来

て

い

ま

す。

裏

金

題

の

24

٦

ま な

の ず 問

等 れ

た 後 誕 閣の民き < 生 党 が代 政 取治 短 か 誕 表の ら 生 選 総 IJ لح の が 裁 あ 力 わ し ず ま あ 選 げ ネ ゃ ら 散 か 立れの لح 8 日 憲 て 問 な 石 IJ 後 新 破 民 以 題

内党自大

政 新 主 ま

ブ ゃ で先 ま す 行 の 被 レ で 解 災 のに 解 き 散 散 者 ŧ 被が 対 لح 後災不 で 応 ブ な す。 回 地 安 で レ す れの る 自 行 る ぞ で

いが

ど

う だ

せ

面

倒

ع

か

え

つ

IJ 考

いか

ま

自

民

は

う

の

主

張

を

聞

て

投 لح

票 そ る

日女る ŧ の す 性 民 لح 本 日 柱 لح つ 投 た よれは党 票 し لح て の の 本 主 ら 地 て し ŧ 機 を 未 方 を て い ろ 仕 行 来 会 守 社 ま を う 方 を る < て 会 守 ル す な の

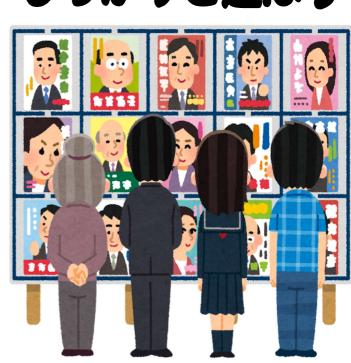
戦 権

べ石 て 破 総 すの 人 理 1 の 守 創 を 安 所 11 る IJ る ま実 信 心 ル 未 玉 現 لح 表 す を 明 ع 民 来 安 し 若 守 を を で し て 全 5 守 て 守 を は 本い

果 題 ま 裏 ょ て う た す の は 金 な さ 説 非 事 ゃ ず 明 公 IJ 責 政 認 に 方 لح 玉 任 治 絡 で 民 ŧ لح す む の し カ る 目 つ ネ لح 員 を か に し 欺 りの て つ < لح 問 いい

## 表示をし

## いよいよ



### がん保険にできることを、 No.1 もっと。 NEW 「生きる」を創る がん保険 WINGS 付帯サービス < アフラックのよりそうがん相談サポート(\*1)> 幅広い保障で 治療前の検査から治療後の外見ケアまで幅広い保障でしっかり備えることができます。 [がんかもしれない]と思ったときから 専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

クのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、

?ラックの保険契約による保障内容ではありません。 -ビスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(https://www.aflac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html)をご確認ください。

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階

〈引受保険会社〉 「生きる」を創る。 アフラック

東京第二法人営業部

東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19階 TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885